

事業カルテ (3年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-672

スポーツ団体助成事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法第22条、第34条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画 第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	体育協会発足時の昭和48年から開始。従来、事務局経費及び各種事業費については補助金として支出してきたが、本来市が行うべきスポーツ振興6事業(市民体育大会、初心者講習会、ジュニア育成等)について平成18年度から業務委託とした。また、平成22年4月には、体育協会が一般財団法人化した。さらに、平成27年度から総合体育館等に指定管理者制度を導入したことに伴い、これまでの事業を指定管理者が行う業務と振り分け、その業務委託範囲を見直し、3事業(※)に集約した。平成30年度から31年度にかけて行われる多摩東公園改修工事により、令和2,3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、多摩ロードレース大会及び武道祭が実施できなかったため、同事業への補助は行わなかった。					

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和3年度の目標	スポーツ基本法第34条に基づき、スポーツ団体が行うスポーツ振興のための事業に助成することにより、市民の健康の保持増進と各スポーツの技術向上を図り、もって多摩市のスポーツ振興に寄与することを目的としている。また、体育協会の自主的運営並びに組織のガバナンス強化を図るため、後方支援するとともに、広く市民がスポーツをする機会を提供する。
予算の執行方法	体育協会に対して、本来、市が行うべきスポーツ振興3事業【(※)多摩市民体育大会開会式、多摩市民体育大会競技別大会、ジュニアスポーツ推進事業】を業務委託料として執行する。また、多摩ロードレース大会及び武道祭については補助金として執行する。
事業の成果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部実施が中止、制限されることとなったが、できる範囲内において、体育協会加盟団体の活動が行われ、多くの市民がスポーツに親しみ、満足感や達成感を味わうとともに、健康の保持・増進が図られた。また、たま広報へのスポーツ情報掲載など、必要な支援を行った。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	8,673 千円	7,147 千円	6,432 千円	5,327 千円	6,518 千円	
事業にかかる実コスト	11,141 千円	8,827 千円	8,148 千円	6,583 千円	8,009 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円				
	都支出金	0 千円				
	地方債	0 千円				
	その他特定財源	0 千円				
	一般財源	8,673 千円	7,147 千円	6,432 千円	5,327 千円	6,518 千円
	間接経費					
職員人件費	2,468 千円	1,680 千円	1,716 千円	1,256 千円	1,491 千円	
《従事人員数》	0.28 人	0.20 人	0.20 人	0.15 人	0.18 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	団体助成事業実施回数	目標	38回	35回	35回
		結果	22回	26回	—
成果指標 (アウトカム)	各団体等において各種の事業を実施(参加者数)	目標	9,000人	6,100人	6,100人
		結果	3,135人	5,753人	—

特記事項

令和3年度の目標値は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ設定している。

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財源		
B	B	B	イ	感染症の影響も踏まえながら、体育協会の自主的かつ健全な運営を促すための支援を引き続き行っていく必要がある。

<スポーツ団体助成事業>

◇執行状況及び成果等

1 市民体育大会等実施業務委託

(円)

年 度	加盟団体数	委託金額
29	33団体	6,435,871
30	33団体	6,606,747
元	33団体	6,432,169
2	33団体	5,327,165
3	32団体	6,517,767

2 体育協会補助金

(円)

年度	29	30	元	2	3
武道祭	500,000	500,000	0	0	0
多摩ロードレース大会	1,737,000	0	0	0	0
合 計	2,237,000	500,000	0	0	0

※平成30年度の多摩ロードレース大会、令和元年度の武道祭および多摩ロードレース大会は多摩東公園改修工事のため実施していない。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

事業カルテ (3年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-673

スポーツ大会等派遣事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法第22条、第34条			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち				
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり			
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画 第4次多摩市生涯学習推進計画					
関連する報告書など	-					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和39年8月・体育会～昭和48年7月・体育協会発足～平成22年4月・一般財団法人化～現在 各大会の実施要項に合わせ、必要最小限の経費により最大限の効果が得られるよう、団体との調整を行ってきたが、代表選手を派遣するにあたって支給してきた往復交通費が、これまで実費で支給されていなかった事態を踏まえ、平成27年度より新たな積算基準として、実費支給。平成29年7月に、多摩市ゴルフ連盟が体育協会に加盟したため、平成30年度より都民体育大会夏季大会への選手派遣を委託業務に加えた。					

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和3年度の目標	都民体育大会、市町村総合体育大会に、各スポーツの多摩市代表選手を派遣し、他区市町村の選手と競技することで、競技技術の向上のみならず、健康保持・増進、体力や資質の向上を図り、もって多摩市のスポーツ振興に寄与することを目的としている。大会の参加制度上、体育協会を通じて多種目の選手を選抜し、派遣しなくてはならないため、業務委託により実施している。各大会の参加競技種目を増やし、より多くの選手が上部大会へ出場できるよう、体育協会と調整していく。	
予算の執行方法	選手派遣に伴う大会参加費、交通費、保険料、消耗品等、またこれらの事務に要する人件費を業務委託料として支出する。	
事業の成果	他区市町村の選手と競技することで、競技技術の向上等を図る。また、大会に参加することを目標に研鑽を積むことで、健康の保持・増進、体力の向上が図られ、上部大会へ出場する選手が増加し、更なる技術力向上が見込まれる。ただし、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により予定していた競技大会の大半が中止となり、期待していた成果が得られなかった。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	2,315 千円	2,496 千円	2,199 千円	936 千円	983 千円	
事業にかかる実コスト	2,579 千円	4,176 千円	3,915 千円	2,192 千円	2,474 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	2,315 千円	2,496 千円	2,199 千円	936 千円	983 千円
間接経費						
職員人件費	264 千円	1,680 千円	1,716 千円	1,256 千円	1,491 千円	
《従事人員数》	0.03 人	0.20 人	0.20 人	0.15 人	0.18 人	
その他の人件費	0 千円					

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	派遣する大会競技種目数	目標	51種目	51種目	51種目
		結果	0種目	1種目	—
成果指標 (アウトカム)	市民が大会出場、上位入賞等を目標に練習に励むことで、健康の保持増進、体力や技術の向上を図る。(都民大会等への派遣者数)	目標	566人	566人	566人
		結果	0人	5人	—

特記事項

—

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 向 後 性 の イ	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 的		
B	B	B	イ	新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえながら、体育協会に所属する団体の競技活動を活発化することで、各大会の参加競技種目を増やし、体力の向上や健康の促進を図っていくように、体育協会への支援を行っていく必要がある。

<スポーツ大会等派遣事業>

◇執行状況及び成果等

年度	大会名	種目数	参加人数(人)	経費 (円) (都民体育大会等選手派遣業務委託料)
29	第70回都民体育大会春季大会	23	239	2,315,354
	第71回都民体育大会夏季大会	0	0	
	第71回都民体育大会冬季大会	1	7	
	第50回東京都市町村総合体育大会	14	145	
30	第71回都民体育大会春季大会	22	212	2,496,265
	第72回都民体育大会夏季大会	1	5	
	第72回都民体育大会冬季大会	2	6	
	第51回東京都市町村総合体育大会	15	156	
元	第72回都民体育大会春季大会	24	261	2,198,745
	第73回都民体育大会夏季大会	0	0	
	第73回都民体育大会冬季大会	0	0	
	第52回東京都市町村総合体育大会	15	150	
2	第73回都民体育大会春季大会	0	0	935,890
	第74回都民体育大会夏季大会	0	0	
	第74回都民体育大会冬季大会	0	0	
	第53回東京都市町村総合体育大会	0	0	
3	第74回都民体育大会春季大会	0	0	935,370
	第75回都民体育大会夏季大会	1	5	
	第75回都民体育大会冬季大会	0	0	
	第54回東京都市町村総合体育大会	0	0	

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止。(経費は通信費、人件費等)

事業カルテ (3年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-881

東京ヴェルディ協働事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり
	関連する施策	—	—
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画、2020年東京オリンピック パラリンピックに向けた多摩市の取組方針		
関連する報告書など	—		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	多摩市は東京ヴェルディ株式会社に出資しているほか、平成23年2月に「多摩市立陸上競技場の活用に関する協定」を締結し、平成31年3月には協議の上更新を行っている。また、平成24年4月に、「多摩市と東京ヴェルディによるまちづくりの推進に関する協定」を締結し、スポーツを通じた事業を展開している。具体例として、東京ヴェルディに所属するトップアスリートを講師とする小学生向けのスポーツ教室や、市内小中学校を訪問しての、障がい者スポーツの体験教室等の開催が挙げられる。		

◇令和3年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成25年度

事業の目的、 令和3年度の目標	多摩市と東京ヴェルディはお互いの持っている資源を生かした連携により、夢と生きがいの持てる豊かなまちづくりの実現を目指している。今後、さらに連携を深めながら、ホームゲーム戦の広報や、東京ヴェルディの選手やコーチによるスポーツ教室の充実などにより、スポーツ振興を図るとともにホームタウンとしての支援・PRを強化する。
予算の執行方法	スポーツ講座の講師・協力者への謝礼、協働事業の委託料、PRグッズ等の購入費の支払い。
目指す事業の成果	相互に連携して事業を実施することで、東京ヴェルディが多くの市民にとって身近な存在になり、市民のスポーツへの興味関心を高めるとともに、スポーツを通して共生社会及び健康づくりの推進が図られた。

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	3,310 千円	3,555 千円	3,259 千円	1,844 千円	1,010 千円	
事業にかかる実コスト	4,808 千円	8,595 千円	8,408 千円	6,030 千円	4,737 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	2,400 千円	2,400 千円	1,385 千円	406 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	190 千円	200 千円	1,062 千円	971 千円	920 千円
	一般財源	720 千円	955 千円	812 千円	467 千円	90 千円
	間接経費					
職員人件費	1,498 千円	5,040 千円	5,149 千円	4,186 千円	3,727 千円	
《従事人員数》	0.17 人	0.60 人	0.60 人	0.50 人	0.45 人	
その他の人件費	0 千円					

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	東京ヴェルディの招待試合、学校訪問、講座等の実施回数	目標	62回	55回	22回
		結果	40回	32回	—
成果指標 (アウトカム)	参加者数	目標	6,700人	5,000人	2,300人
		結果	2,146人	1,607人	—

特記事項

令和3年度は、前年度に引き続き年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響下にあり、市内での感染拡大防止を優先し、中止とした事業があった。また、開催した事業についても、参加者申込が感染症拡大前と比較して少なかった。

◇自己点検

成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的 ニ ー ズ	財一 源 般		
N	N	N	イ	東京ヴェルディの支援・PRを強化をしていくとともに、地域貢献に結びつくような各種スポーツ教室等の事業を展開する。実施にあたっては、東京ヴェルディが総合型スポーツクラブを展開していることから、サッカー以外の競技も積極的にを行い、より多くの市民が様々な競技に参加できるよう連携を図る。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況をみつつ、事業の実施可否判断などを適宜行っていく。

〈東京ヴェルディ協働事業〉

◇執行状況及び成果等

1 参加者数等

年度	延参加者数	経費(講師謝礼・消耗品費)
29	8,122人	3,310,000円
30	6,442人	3,554,820円
元	2,900人	3,258,997円
2	2,146人	1,843,474円
3	1,607人	1,009,870円

2 事業実績等

①平成29年度

事業名		実施時期	回数	参加人員	延参加人数
スポーツ教室等	親子サッカー教室	7月15日(土)	1回	37人	37人
	子どもかけっこ教室	9月24日(日)	1回	15人	15人
	バレーボール教室	9月24日(日)	1回	11人	11人
	サッカー教室	10月9日(月・祝)	1回	28人	28人
	女子サッカー教室	11月3日(金・祝)	1回	8人	8人
	学校訪問事業 愛和小学校	4月20日(木)	1回	59人	59人
	専門家派遣事業(サッカー) 豊ヶ丘小学校	5月23日(火)	1回	50人	50人
	専門家派遣事業(サッカー) 愛和小学校	6月7日(水)	1回	58人	58人
	専門家派遣事業(サッカー) 諏訪小学校	6月20日(火)	1回	38人	38人
	専門家派遣事業(サッカー) 東落合小学校	12月6日(水)	1回	52人	52人
	障がい者スポーツ体験教室	通年	24回	369人	369人
小計		34回	-	725人	
日テレ・ベレーザ	多摩市立陸上競技場で開催された日テレ・ベレーザ公式戦(公式戦特別招待試合) ※総観客数※参考値				
	アルビレックス新潟レディース戦	4月15日(土)	1回	791人	791人
	AC長野パルセイロ・レディース戦	4月25日(火)	1回	958人	958人
	ジェフユナイテッド市原・千葉レディース戦	6月24日(土)	1回	720人	720人
	伊賀フットボールクラブくノ一戦	9月30日(土)	1回	579人	579人
	小計		4回	-	3,048人
東京ヴェルディ公式戦のうち、ホームタウンでチラシの配布を行った試合(公式戦特別招待試合) ※2017シーズン表記					
大分トリニータ戦	3月5日(日)	1回	5,749人		
水戸ホーリーホック戦	3月11日(土)	1回	3,296人		
FC岐阜戦	3月25日(土)	1回	3,331人		

東京ヴェルディ	名古屋グランパス戦	6月10日(土)	1回	12,659人	左記の総観客数からチラシ配布枚数等を勘案し積算↓
	カマタマーレ讃岐戦	7月22日(土)	1回	3,980人	
	ロアッソ熊本戦	8月11日(金・祝)	1回	4,372人	
	V・ファーレン長崎戦	8月20日(日)	1回	5,025人	
	徳島ヴォルティス戦	11月19日(日)	1回	14,541人	
	小計		8回	52,953人	
多摩市サンクスマッチとして開催した東京ヴェルディ公式戦(市民無料)					
	FC横浜戦(公式戦市民優待試合)	5月7日(日)	1回	1,650人	1,650人
	小計		1回	—	1,650人
その他	東京ヴェルディギャラリー	1月6日(土)、7日(日)	2回	700人	700人
	多摩市立陸上競技場での練習	通年	50回	30人	1,500人
	ようこそ多摩シート	通年		38件117枚	117人
	小計		52回	—	2,317人

②平成30年度

事業名		実施時期	回数	参加人員	延参加人数
スポーツ教室等	女子サッカー教室	4月28日(土)	1回	24人	24人
	かけっこ教室(短距離)	8月25日(土)	1回	13人	13人
	バレーボール教室	9月15日(土)	1回	17人	17人
	サッカー教室	10月8日(土)	1回	21人	21人
	かけっこ教室(長距離)	11月17日(土)	1回	78人	78人
	学校訪問事業 豊ヶ丘小学校	4月12日(木)	1回	61人	61人
	学校訪問事業 多摩第三小学校	5月31日(木)	1回	113人	113人
	学校訪問事業 東落合小学校	10月18日(木)	1回	72人	72人
	学校訪問事業 西落合小学校	10月18日(木)	1回	72人	72人
	学校訪問事業 瓜生小学校	10月18日(木)	1回	67人	67人
	学校訪問事業 大松台小学校	10月18日(木)	1回	86人	86人
	専門家派遣事業(サッカー) 豊ヶ丘小学校	5月9日(水)	1回	49人	49人
	学校訪問型 障がい者スポーツ体験教室(出前教室)	通年	25回	667人	667人
	障がい者スポーツ体験教室	通年	24回	562人	562人
	小計		61回	—	1,902人

日テレ・ベレーザ	多摩市立陸上競技場で開催された日テレ・ベレーザ公式戦(公式戦特別招待試合) ※総観客数				
	アルビレックス新潟レディース戦	4月8日(日)	1回	560人	560人
	アルビレックス新潟レディース戦	4月28日(土)	1回	918人	918人
	小計		2回	—	1,478人
東京ヴェルディ	東京ヴェルディ公式戦のうち、ホームタウンでチラシの配布を行った試合(公式戦特別招待試合) ※2018シーズン表記				
	ジェフ千葉戦	2月25日(日)	1回	9,400人	左記の総観客数からチラシ配布枚数等を勘案し積算↓
	松本山雅戦	3月11日(日)	1回	8,812人	
	アビスパ福岡戦	3月21日(水・祝)	1回	3,048人	
	町田ゼルビア戦	5月4日(金・祝)	1回	6,505人	
	アルビレックス新潟戦	7月25日(水)	1回	4,537人	
	大分トリニータ戦	8月18日(土)	1回	9,214人	
	カマタマーレ讃岐戦	11月11日(日)	1回	10,529人	
	小計		7回	52,045人	375人
	多摩市サンクスマッチとして開催した東京ヴェルディ公式戦(市民無料)				
	ツエーゲン金沢戦(公式戦市民優待試合)	5月6日(日)	1回	569人	569人
	小計		1回	—	569人
	多摩市公共施設で実施したパブリックビューイング				
	ジュビロ磐田戦	12月8日(土)	1回	125人	125人
小計		1回	—	125人	
その他	東京ヴェルディギャラリー	1月6日(土)、7日(日)	2回	700人	379人
	多摩市立陸上競技場での練習	通年	50回	30人	1,500人
	ようこそ多摩シート	通年		114人	114人
	小計		52回	—	1,993人

③令和元年度

事業名		実施時期	回数	延参加人員
スポーツ教室等	かけっこ教室	4月6日(土)	1回	89人
	チアダンス教室	6月29日(土)	1回	22人
	バレーボール教室	9月7日(土)	1回	30人
	親子サッカー教室	11月9日(土)	1回	26人
	スポーツサイクル教室	12月15日(日)	1回	13人
	バスケットボール教室	1月18日(土)	1回	11人
	学校訪問事業 多摩第一小学校	6月27日(木)	1回	71人

	学校訪問事業 大松台小学校	6月27日(木)	1回	103人
	専門家派遣事業(サッカー) 多摩第一小学校	5月10日(金)	1回	118人
	専門家派遣事業(サッカー) 豊ヶ丘小学校	5月14日(火)	1回	53人
	専門家派遣事業(サッカー) 東落合小学校	10月11日(金)	1回	52人
	専門家派遣事業(サッカー) 北諏訪小学校	12月16日(月)	1回	30人
	専門家派遣事業(サッカー) 西落合小学校	1月20日(月)	1回	70人
	学校訪問型 障がい者スポーツ体験教室(出前教室)	通年	38回	1,180人
	障がい者スポーツ体験教室	通年	18回	640人
	小 計		68回	2,508人
東京ヴェルディ	多摩市サンクスマッチとして開催した東京ヴェルディ公式戦(市民優待)			
	FC琉球	4月13日(土)	1回	158人
	アビスパ福岡	5月11日(土)	1回	143人
	愛媛FC	7月20日(土)	1回	91人
	小 計		3回	392人
その他(参考値/延参加者数には反映しない)	東京ヴェルディ公式戦のうち、ホームタウンでチラシの配布を行った試合(公式戦特別招待試合) ※2019シーズン表記			
	ツエーゲン金沢戦	3月9日(土)	—	5,798人
	V・ファーレン長崎	5月5日(土)	—	3,296人
	ジェフユナイテッド千葉	5月25日(土)	—	8,545人
	FC町田ゼルビア	7月27日(土)	—	5,603人
	鹿児島ユナイテッドFC	8月11日(日)	—	5,948人
	FC岐阜	11月24日(日)	—	6,559人
	小 計		—	35,749人
	東京ヴェルディギャラリー	1月11日(土)、12日(日)	—	350人
ようこそ多摩シート	通年	—	10件	

④令和2年度

事業名	実施時期	回数	延参加人員
ヴェルレンジャー SNAGゴルフ教室	8月10日(月・祝)	1回	19人
ヴェルレンジャー セパタクロール教室	9月26日(土)	1回	20人

スポーツ教室等	ヴェルレンジャー チアダンス	9月26日(土)	1回	7人
	ヴェルレンジャー 野球教室	12月6日(土)	1回	23人
	専門家派遣事業(サッカー)市内小学校	5月10日(日)	5回	323人
	学校訪問型 障がい者スポーツ体験教室(出前教室)	通年	16回	1,021人
	障がい者スポーツ体験教室	通年	13回	112人
	小 計		38回	1,525人
東京ヴェルディ	多摩市サンクスマッチとして開催した東京ヴェルディ公式戦(市民優待)※総観客数より多摩市民を算出(ヴェルディ調べ)			
	松本山雅FC	8月19日(水)	1回	334人
	小 計		1回	334人
日テレ・ベレーザ	多摩市立陸上競技場で開催した練習試合 ※総観客数より多摩市民を算出(ヴェルディ調べ)			
	セレッソ大阪堺レディース	11月8日(日)	1回	287人
	小 計		1回	287人
その他(参考値/延参加者数には反映しない)	東京ヴェルディ公式戦のうち、ホームタウンでチランの配布を行った試合(公式戦特別招待試合) ※2020シーズン表記			
	大宮アルディージャ	10月3日(土)	1回	4,161人
	徳島ヴォルティス	11月7日(土)	1回	5,181人
	V・ファーレン長崎	12月7日(月)	1回	4,754人
	水戸ホーリーホック	12月20日(日)	1回	4,466人
	小 計		4回	18,562人
	東京ヴェルディギャラリー	2月20日(土)～27日(土)	—	630人
	ようこそ多摩シート	通年	—	31件

⑤令和3年度

事業名		実施時期	回数	延参加人員
スポーツ教室等	ヴェルレンジャー スポーツサイクル教室	8月10日(月・祝)	1回	6人
	ヴェルレンジャー スイミング教室	9月26日(土)	1回	3人
	ヴェルレンジャー サッカー教室	10月10日(土)	1回	31人
	ヴェルレンジャー バスケット教室	12月6日(土)	1回	9人
	学校訪問型 障がい者スポーツ体験教室(出前教室)	通年	16回	947人
	障がい者スポーツ体験教室	通年	9回	78人
	小 計		29回	1,074人

東京ヴェルディ	多摩市ホームタウンデーとして開催した東京ヴェルディ公式戦(市民優待)※多摩市民の優待チケット申込数(ヴェルディ調べ)			
	V・ファーレン長崎	11月7日(日)	1回	533人
	小計		1回	533人
その他(参考値/不参加) 者数には反映しない)	ようこそ多摩シート	通年	—	24件
	多摩市陸上競技場で行われた公開練習試合について			
	東京ヴェルディ	4月11日(土)	1回	—
	日テレ・東京ヴェルディベレーザ	4月17日(日)	1回	—
	小計		2回	—

事業カルテ (3年度決算)

オリンピック・パラリンピック推進室【スポーツ振興課】

10-06-01-935	東京オリンピック・パラリンピック推進事業
--------------	----------------------

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	—
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり
	関連する施策	—	—
関連する個別計画	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取組方針		
関連する報告書など	東京2020大会 多摩市報告書		
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成28年2月、「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた多摩市の取組方針」を策定し、東京2020大会を契機として、持続的に発展できる地域を形成し、多くの人が行きたい・見たい・住みたいと思える多摩市の創造を目指すことを取組の基本的な方向と定め、全庁的に取組を進めてきた。平成31年3月、市内の一部がオリンピック自転車競技ロードレースのコースに決定するなどの情勢変化をふまえて方針を改訂し、基本的な方向は踏襲しつつ新たに重点的に取り組むべき目標を定め、自転車競技ロードレースのテストイベントやアイスランド共和国のホストタウン登録など様々な事業を推進した。令和2年11月、方針を再改訂し、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により東京2020大会が1年延期されたことを受け、オリンピック・パラリンピックの開催の意義を振り返り事業の方向性を確認した。		

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成29年度
事業の目的、 令和3年度の目標	東京2020大会に市民一人ひとりが関わり、楽しみ、心に刻み、将来につなげるレガシーを創出するため、令和3年度は次の事業を実施する。オリンピック聖火リレー、パラリンピック聖火リレー関連事業、オリンピック自転車競技ロードレース、コミュニティライブサイト等の開催。事前キャンプの受入及びホストタウンとしての交流事業の実施。なお、各事業の準備・実施にあたっては、新型コロナウイルスの感染症対策に万全を期すとともに、多様な主体(国士舘大学、都内自転車ロードレースコース自治体8市、コミュニティライブサイト開催自治体5市、市内6大学、市内事業者など)と連携しながら、庁内外一体となって取り組む。また、大会後には、大会を記録し、感動を後世に引き継ぐため、多摩市ゆかりの選手の健闘を称えるイベントの開催、記録映像、報告書、銘板等の制作を行う。	
予算の執行方法	聖火リレー関連事業(消耗品・印刷製本費・委託料・負担金)、自転車競技ロードレース事業(消耗品・印刷製本費・委託料・負担金)、コミュニティライブサイト事業(役務費・委託料・負担金)、事前キャンプ視察対応(委託料)、事前キャンプ等受入及びホストタウン関連事業(謝礼・委託料)、国士舘大学との連携協定に基づく事業(委託料)、ゆかりの選手応援プロジェクト(消耗品・印刷製本費・委託料)、東京2020大会多摩市記録映像及び報告書制作事業(委託料)、銘板等設置事業(委託料)、その他気運醸成(印刷製本費)、庶務的経費	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・聖火リレーは多摩市内の出発式と公道走行が中止となり、八王子市でのセレモニーのみとなった ・自転車競技ロードレースは開催され、市民が間近で観戦・体感することにより感動とスポーツへの関心が高まった ・自転車競技ロードレースのコースサポーターを募集したことにより、学生の東京2020大会への参画機会を創出した ・事前キャンプの選手等と市民とのオンライン交流により国際交流の推進を図った 	

◇事業にかかる費用

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	6,260	7,764	21,097	13,576	60,000	
事業にかかる実コスト	22,462	36,206	81,989	55,042	103,491	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0	0	0	0	0
	都支出金	2,271	1,803	2,038	1,959	24,319
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	6,975	5,239	12,200
	一般財源	3,989	5,961	12,084	6,378	23,481
	間接経費					
職員人件費	15,863	27,554	58,704	40,013	41,827	
《従事人員数》	1.80	3.28	6.84	4.78	5.05	
その他の人件費	339	888	2,188	1,453	1,664	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	【令和2年度まで】 東京2020大会の気運醸成に資する各種イベント・講演会等の実施	目標	11回	8事業	—
	【令和3年度】 市民が東京2020大会(関連事業含む)に参加できるイベント等	結果	2回	5事業	—
成果指標 (アウトカム)	【令和2年度まで】 東京2020大会の気運醸成に資する各種イベント・講演会等の合計来場者数	目標	7,026人	5,135人	—
	【令和3年度】 東京2020大会(関連事業含む)に携わった市民の数(沿道での観戦者・観覧者を除く)	結果	238人	441人	—

特記事項	イベント・講演会等の実施回数等については、オリンピック・パラリンピック推進室として実施していくもので指標の設定を行う。
------	---

◇自己点検

の 成 果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 の 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	二 量 的	財 一 源 般		
N	N	N	ウ	東京2020大会終了に伴い、令和3年度末を持ってオリンピック・パラリンピック推進室は廃止、実施してきた各事業も各所管課へ新たな事業として引継ぎを行った。今後は引継ぎ先の課において、東京2020大会のレガシーを残すため事業を実施していく。

<東京オリンピック・パラリンピック推進事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 自転車競技ロードレース事業

新型コロナウイルスが収束していなかったため様々な規制があったが、以下の3事業を実施し、大会自体も無事に開催された。

- ① 令和元年度に自転車競技ロードレースの開催を契機とするスポーツ振興や観光振興など多摩地域全体の振興を目的として行う事業を広域的に連携して実施するため、東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市合同連絡会を設置した。令和3年度に実施した8市連携事業は、自転車競技への興味・関心を高め、多摩地域を通るオリンピックコースの認知度向上のため、コース沿道を自転車やランニング、ウォーキングで巡るスタンプラリーを実施した。

年度	項目	決算額 (円)
令和元年度	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市連携事業	5,000,000
令和2年度	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市連携事業	4,977,500
令和3年度	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース8市連携事業	5,000,000

- ② 多摩市が東京2020大会オリンピック自転車競技ロードレースの会場（コース）となることを契機に、オリンピックの気運醸成を図るとともに、次代を担う子どもたちを中心にオリンピックに関わる機会を創り、その楽しさと感動を体験し、かけがえのない体験（経験）として未来に繋げていくことを目的に実施したが、新型コロナウイルスの影響により実施直前で無観客で開催する仕様に変更した。
実施予定であった、オリンピックと自転車競技の専門家によるトークショーと自転車競技体験の様子はYouTubeに公開し、小中学生向けと市民向けに分けて公開した。

年度	視聴者数	決算額 (円)
令和3年度	市民向け →延べ832回再生 小中学生向け→延べ1,942回再生 競技体験 →延べ1,107回再生	3,397,680

- ③ 令和3年7月24日（土）・25日（日）に実施された「東京2020オリンピック自転車競技ロードレース」に伴う市内の交通規制について、広く市民に周知し、理解してもらえるよう、チラシの作成・配布を行った。

年度	掲載内容	決算額 (円)
令和3年度	①規制地図 ②自転車競技ロードレース観戦マナー ③自転車競技にまつわるクイズ ④市内公共交通機関の運行状況	1,457,724

2 聖火リレー事業

- ① 東京2020オリンピック聖火リレーについては、令和3年7月10日（東京都2日目の出発式会場）開催に向けて準備を進めていたが、同年6月29日に東京都が7月10日開催の公道走行および出発式を中止し、八王子市でのセレモニーのみの開催に変更したため、多摩市内での走行および出発式は中止となった。
ただし、中止が開催直前であったことから、委託業務のキャンセル料および準備経費の支払いが発生した。

年度	項目	決算額 (円)
令和3年度	①東京2020大会関連広報作成・配布業務委託	1,465,200
	②オリンピック聖火リレー出発式業務委託	231,000

- ② 東京2020パラリンピック聖火について、新型コロナウイルスが収束していない中ではあったが、令和3年8月20日に多摩市内での「多摩市の火」採火式および「東京都の火」の展示を実施した。
「多摩市の火」採火式では感染症対策を講じた上でロウソクリレーを実施し、各々の思いを乗せて次の人へと火がリレーされた。
「東京都の火」の展示は、多摩市内4か所（京王聖蹟桜ヶ丘SC A館スカイプラザ、小田急永山駅構内、京王多摩センター駅構内、温水プール交流スペース）で展示し、多くの人が「東京都の火」を一目見ようと足を運んだ。

年度	項目	決算額（円）
令和3年度	①採火式運営業務委託	330,000
	②聖火ビジット警備業務委託	184,800

3 多摩市・国士舘大学連携事業実施業務

「多摩市と国士舘大学との東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組に関する連携協定」に基づき、以下の事業を実施。

平成29年8月31日に宝野公園で行われた「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を契機に平成30年度・令和元年度・令和2年度に引き続き、「楽しく！美しい！ラジオ体操教室」を市内のコミュニティセンター3会場（延べ3日間）を巡回し実施した。参加者の多くが目標としていたラジオ体操第1・第2の一つひとつの運動・動作を正しく習得することができた。

なお、本教室は換気や手指消毒、会場での参加定員の削減などの新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で行った。

年度	参加人数（人）	決算額（円）
平成29年度	スポーツ教室→147（市外含む） トップアスリート講演会→615（国士舘学生含む）	1,987,400
平成30年度	トップアスリート等を招いたイベント <ul style="list-style-type: none"> ┌ トークショー→170（市外含む） └ 特別展→318（市外含む） スポーツ教室→147（市外含む） ラジオ体操教室→254	2,819,934
令和元年度	トップアスリート等を招いた講演会→151 ラジオ体操教室→548	2,496,527
令和2年度	オリンピック・パラリンピックの理念や歴史に関するセミナー→62 ラジオ体操教室 <ul style="list-style-type: none"> ┌ 現地参加→89 └ オンラインでの最大同時接続数→延べ77 	1,109,209
令和3年度	ラジオ体操教室→39	54,000

4 事前キャンプ受入及びホストタウン関連事業

- ① 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の期間前に本市で実施した、アイスランド共和国オリンピック選手団・パラリンピック選手団の事前キャンプにおける、受入準備、及び同選手団の受入及びホストタウン関連事業実施に関する業務を委託した。

オリンピック選手団受入時は国のガイドラインに基づく感染防止対策を最優先としたため、選手団と市民との交流はできなかったが、YouTubeでの動画公開、SNSやホームページを活用した情報発信を行った。一方、パラリンピック選手団受入時は感染防止対策に万全を期した上で、選手団と多摩市民のオンライン交流会、公開練習見学を実施した。

年度	交渉相手	決算額（円）
令和2年度	アイスランド国立オリンピック・スポーツ協会（ISI） アイスランド障がい者スポーツ協会（NPCアイスランド） 台湾バドミントン協会	1,239,150
令和3年度	アイスランド国立オリンピック・スポーツ協会（ISI） アイスランド障がい者スポーツ協会（NPCアイスランド）	28,812,877

- ② アイスランド共和国オリンピック選手団・パラリンピック選手団の応援用懸垂幕・横断幕、ホストタウン周知用のぼり旗等を購入し、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成、アイスランドの事前キャンプ地及びホストタウンであることの周知などのために使用した。
 なお、選手団応援用の横断幕や卓上旗セット等は令和2年度に購入したものを使用したため、令和3年度において費用は発生していない。

年度	項目	決算額 (円)
令和2年度	卓上旗セット等 (ホストタウン連携協定締結式用)	15,884
	懸垂幕・横断幕 (選手団応援用)	134,860
	のぼり旗 (ホストタウン周知)	63,635
令和3年度		0

5 コミュニティライブサイト事業

- ① 東京2020大会自転車競技ロードレースの開催に合わせ、市内車列通過後も、継続して自転車競技ロードレースをライブ中継で展開し、オリンピックの臨場感や一体感を、市民をはじめ、多くの観戦者と共に感じオリンピックに参加している感動を共有できる場を提供するために準備を進めていたが、令和3年6月19日に東京都主催のすべてのライブサイト、パブリックビューイングの中止決定を受け、同年6月24日に多摩市としても中止を決定した。
 ただし、中止決定となったのが開催間近であったため、準備費用、キャンセル料が発生した。

年度	項目	決算額 (円)
委託費	「東京2020オリンピック競技大会コミュニティライブサイト in TAMA」運営業務委託	2,730,090

- ② 令和2年度に東京2020オリンピック自転車競技ロードレースが開催される都内自治体の内、コミュニティライブサイトを実施する予定であった5市（府中市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市）が、自転車競技ロードレースに係る東京2020オリンピックコミュニティライブサイトの開催を契機とするスポーツ振興、観光振興、各市のコミュニティライブサイトへの集客等多摩地域の振興を目的として行う事業を広域的に連携して実施するため、自転車競技ロードレースに係る東京2020オリンピックコミュニティライブサイト5市合同連絡会を設置した。
 令和3年度は5市連携事業として、自転車競技ロードレースの観戦情報誌「TAMA AREA ROAD RACE EXPRESS」を作成した。
 コミュニティライブサイトは中止となってしまったが、自転車競技ロードレースは開催されるため都内5市の公共施設等で配布し、広く周知を行った。

年度	項目	決算額 (円)
令和3年度	自転車競技ロードレースに係る東京2020オリンピックコミュニティライブサイト5市連携事業	5,000,000

6 シティドレッシング事業

- 東京2020大会に際し、自転車競技ロードレースが通過する多摩センター駅周辺を世界に対して広く発信するとともに、大会へ向けた市民の気運醸成、地元の活性化のため、また、アイスランド共和国オリンピック・パラリンピック選手団が事前キャンプにおいて宿泊する施設周辺に「おもてなし」の意を込め、都市装飾を行った。
 なお、バナー等は令和2年度に購入したものを使用したため、令和3年度において費用は発生していない。

年度	項目	決算額 (円)
令和2年度	シティドレッシング用バナー作成 ・東京2020オリンピック・パラリンピック柄 192枚 ・アイスランド共和国関連柄 34枚	1,026,410
	街路灯フラッグアーム設計及び作成 ・バナーを掲出する街路灯のうち、フラッグアーム未設置の街路灯へフラッグアームを設計・作製・設置 55本	3,056,900
令和3年度		0

7 多摩市ゆかりの選手応援事業

平成29・30年度は「シリーズ東京2020大会国士舘大学注目の選手紹介!」、令和元年度は「シリーズ東京2020大会特別企画多摩市ゆかりの選手応援プロジェクト」と題し、東京2020大会への出場を目指している選手を応援する事業を実施してきた。令和3年度は東京2020大会に出場する選手が決定したことから、横断幕・懸垂幕とポスターを制作し市内公共施設等に掲出した。

また、大会終了後には東京2020大会に出場した選手をお招きし、「東京2020大会 感動をありがとうイベントinTAMA」を実施した。

	項目	決算額 (円)
消耗品費	横断幕・懸垂幕	456,720
印刷製本費	ポスター	145,200
委託費	東京2020大会終了後イベント企画運営業務委託	1,594,175
委託費	東京2020大会終了後イベント映像編集業務委託	242,000

8 東京2020大会レガシー事業

東京2020大会に向けた気運醸成の取組や聖火リレー、多摩市内がコースの一部となっている自転車競技ロードレース、市内で行われる事前キャンプ、多摩市ゆかりの選手の活躍、大会後のイベントなど多摩市における東京2020大会の感動を後世に引き継いでいくために、報告書や記録映像、銘板を制作した。

	項目	決算額 (円)
委託費	東京2020大会多摩市報告書制作業務委託	1,403,111
	東京2020大会多摩市記録映像制作業務委託	1,078,000
	銘板制作・設置業務委託	498,300

事業カルテ (3年度決算)

スポーツ振興課

10-06-01-960

スポーツ推進審議会経費

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	スポーツ基本法(第4条、第10条、第31条)				
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち					
	政策	C2	豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり				
	施策	1	誰もがいきいきと学び、活動する環境づくり				
	関連する施策	-	-	-	-	-	
関連する個別計画	多摩市スポーツ推進計画						
関連する報告書など	-						
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機に、その後を見据え、スポーツ施策の推進を総合的・計画的に実行していくため、スポーツ基本法第31条に基づき、地方スポーツ推進計画やその他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、平成29年度まで設置されていた「多摩市体育施設運営審議会」を発展的改組し、平成30年度より「多摩市スポーツ推進審議会」を設置した。						

◇令和3年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成30年度
事業の目的、 令和3年度の目標	多摩市スポーツ推進審議会条例に基づき、多摩市長の諮問に応じ、調査審議し、答申する。特に『多摩市スポーツ推進計画』に基づいたスポーツ施策の推進の進捗について審議・確認を行なう。令和3年度は、スポーツ施設全般について審議を行い、体育施設に関する個別施設計画策定に向けて、体育施設の基本方針や今後の方向性等について、答申を行う。	
予算の執行方法	審議会委員への報酬の支払い。	
事業の成果	多摩市スポーツ推進計画の目標達成に向けて、市民が主体的にスポーツを楽しむことのできる施設環境を実現するため基本的な考え方をまとめた。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
決算額(単位:千円)	0千円	4,649千円	4,107千円	394千円	66千円	
事業にかかる実コスト	0千円	11,790千円	11,402千円	1,984千円	3,793千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	都支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	一般財源	0千円	4,649千円	4,107千円	394千円	66千円
	間接経費					
職員人件費	0千円	7,141千円	7,295千円	1,590千円	3,727千円	
《従事人員数》	0.00人	0.85人	0.85人	0.19人	0.45人	
その他の人件費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標 (アウトプット)	審議会開催回数	目標	6回	4回	4回
		結果	5回	1回	-
成果指標 (アウトカム)	体育施設に関する個別施設計画策定に向けた答申を行う。	目標	答申に向けた審議	答申	審議
		結果	答申に向けた審議	答申および素案に対するパブリックコメントの報告	-

特記事項

-

◇自己点検

成果指標の推移	今後の見通し		方今向後性の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量的	財一源般		
B	B	B	イ	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施についても制限される中、答申をいただき、多摩市屋外スポーツ施設管理更新計画を发出。コロナ前に作成されたスポーツ推進計画をコロナ禍に併せどのように見直すかが今後の課題と考える。

<スポーツ推進審議会経費>

◇執行状況及び成果等

1 スポーツ推進審議会委員の構成 委員数 10人

【選任区分】

- (1) 学識経験者 2人
- (2) スポーツ関係者 3人
- (3) 学校教育関係者 2人
- (4) 障がい者団体関係者又は障がい者スポーツ関係者 1人
- (5) 公募市民 2人

2 スポーツ推進審議会の開催回数と委員報酬

項目 年度	開催回数	報酬額
元	5回	404,900円(会長12,500円、委員10,700円)
2	5回	394,200円(会長12,500円、委員10,700円)
3	1回	66,000円(会長12,500円、委員10,700円)

3 スポーツ推進審議会の主な審議・検討・報告内容

項目 年度	主な審議・検討・報告内容
元	・多摩市スポーツ推進計画策定について ~答申
2	・多摩市体育施設に係る個別施設計画策定に向けた基本的考え方について ~答申案決定
3	・多摩市屋外スポーツ施設管理更新計画(素案)について ~意見集約